

(2) ヌマエビ科のエビ類の見分け方



ヤマトヌマエビとヌマエビ(右端)

体色・紋様など

ヌマエビ科の体色や斑紋は雄雌で違い、個体差があったり、環境に応じて変化するようにヤマトヌマエビ以外の種については最終的な判定材料にならない。それくらい変化があるので参考程度にすること。

正中線上にある縦線模様



採取直後のミズレヌマエビとトゲナシヌマエビ(右)

色: オリーブ、褐色など
 細い: ヤマトヌマエビ
 太い: ミズレヌマエビ
 ミナミ(?)ヌマエビ
 トゲナシヌマエビ
 不分明: ヌマエビ ヌカエビ
 註: 正中線から体節へ縞模様が出ることもある。



ヌマエビ



ヤマトヌマエビ



トゲナシヌマエビ



ヤマトヌマエビ

唯一見た目で判る種
 体側に並ぶ暗赤色の斑点が特徴。雄は丸破線(···)状、雌は長破線(---)状。
 また、尾肢の両端に黒い斑点があり、これも目立つ特徴。
 体色は透明感のある緑若しくは小豆色



トゲナシヌマエビ

体色・紋様はヌマエビ似、体型はヤマトヌマエビ似ており、判別は困難。
 その名のとおり額角を確認する外はない。
 千葉県レッドデータランクA



ミズレヌマエビ

網の中に濃褐色或いは濃緑色に近いエビが入ったらこの2種の可能性大。但し、生息環境が異なっているので間違える可能性は低い。



ミナミ?ヌマエビ

ミズレヌマエビは両側回遊性で県南部に多い。千葉県レッドデータランクA

ミナミヌマエビは純淡水種で元々は日本南西部に生息している。千葉県の生息種に?をつけている理由は別掲(p. 6) 移入種の可能性大。



ヌマエビ

ヌマエビとヌカエビは体型体色では判別不可能。
 一般的に雌は体色が濃く、雄は小型で透明に近い個体が多い。
 ヌマエビには2種類いるようで南部群といわれるもの(写真)の体色は濃く、北部群は透明に近い。ヌカエビは北部群に極似して透明に近い。
 註: 採取直後の個体は体色が濃い場合が多く、ヌカエビは普通殆ど透明だが写真の個体は御覧のとおり。



ヌカエビ



ヌマエビ(抱卵)

色も紋様も違いますが両方ともミナミ?ヌマエビです。

最終的にルーペで細部を確認